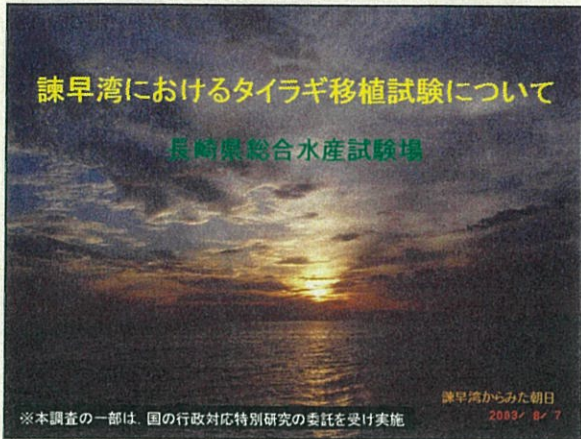


諫早湾におけるタイラギ移植試験について

長崎県総合水産試験場



諫早湾からみた朝日
2003/8/7

※本調査の一部は、国の行政対応特別研究の委託を受け実施

研究の目的

タイラギ資源の激減(平成5年以降, 休漁状態)

||

長崎県諫早湾の漁場環境の変化
(底質環境の悪化, 有害赤潮の頻発など)

↓

タイラギの生産阻害要因の解明
(貧酸素水塊の発生, 食害など)

タイラギ移植試験

移植タイラギ 小長井町干潟域で採取
1才貝: 2001年級群, 2002年級群(SL約10cm) → 2002年度, 2003年度調査
2才貝: 2000年級群(SL約19cm) → 2002年度調査

試験期間: 6月~9月

移植場所: 沖合域: Stn.1, Stn.2→砂泥質 水深5~6m
浅海覆砂域: Stn.3→砂質 水深0.3m

水質観測: Stn.1
Stn.2, Stn.3
連続観測が可能な
水質計を設置
(海底面直上10cm)

観測項目
水温, DO, 塩分, 水深
(%)
(30分間隔で観測)



移植方法(試験区)


非防護区

食害防護(籠)区

食害防護(棒)区

食害防護(カップ)区

※浅海覆砂域では, 2002年度は非防護区のみ
2003年度は籠区とカップ区を設置



干潟域(アサリ漁場)のタイラギ生息状況調査

(浅海覆砂漁場同様周りを網で囲む)

各漁場に50cm角の試験区5ヶ所を
設置し, 生残状況を観察

- ・2002年度: 2000年級群と2001年級群
- ・2003年度: 2002年級群

(沖からの移植も実施)

干潟に分布するタイラギ

試験区
(4角を棒で囲む)

